

上尾市立南中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

「志高く頼もしい南中学校の生徒」

- ・ゆたかな人間性 ・たくましい心身
- ・考え、学び合う力

学校課題研究主題

「自ら考え、主体的に取り組む児童生徒の育成～学力向上のために各校の実態に即した学習状況を通して～」

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
・全国平均に比べ、国語の平均正答率は全国平均よりも約6%高く、数学は約2.5%高い。 ・特に国語の「書くこと」についての正答率が全国と比べて約11%上回っている。 ・質問紙において、国語および理科の学習が好きと答えた生徒が多い。	・第3学年において、国語・数学・英語の正答率は県平均を上回っている。 ・非認知能力について、1、2年生は県平均と同等であったが、3年生は「プランニング方略」と「作業方略」において上回っている。	・国語、数学、英語ともに正答率が自治体平均を上回っている。 ・国語では、ほぼすべての項目が平均を上回っている。 ・英語においては正答率が自治体平均より上回ってはいるが、活用と思判表が同等なので、重点的に伸ばしていきたい。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・各教科において学習した言葉の意味や内容、学習用語の習得をさせる。 ・資料を多面的・多角的に捉える技能を養い、活用につなげる。	・習得した知識をもとに、仲間と考えを共有し、自分の考えを持つ力を育成する。 ・自分の考えを自分の言葉で説明したり表現したりする力を育成する。	・目標や見通しをもち、学習に粘り強く取り組む力を養う。 ・学習したことの振り返りを通して、学習調整力を養う。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・授業開始5分間程度の復習を実施し、反復練習や問題演習で基礎的な知識・技能の定着を図る。 ・単元テストや小テストを定期的に実施する。 ・ICT機器等を用いて資料の視覚化を行う。	・ICT等を活用し、自分の考えを文章にする機会を設ける。 ・話合いのルールを把握させ、安心して協働的な学習に取り組める環境を整える。 ・話合い活動の中で多様な考えを知り、自分の考えを確立させる。 ・話合い活動を通じて、合意形成をする機会を設ける。	・授業開始時に「めあて」を提示し、生徒に学習への見通しを持たせる。 ・授業の終わりで「振り返り」の時間を設け、生徒自身に学んだことや考えたこと、学習方法についてまとめさせる。

本校の特色ある取組

- ・人権・道徳教育を通して、自他を大切にする生徒の育成。
- ・清掃を通じた心づくり指導。
- ・高校や高等技術専門学校、大学と連携した体験入学や出前授業、講演会の実施。
- ・「じりつ=自立・自律」できる生徒の育成

家庭教育との連携

- ・各家庭への「シラバス」の内容の周知。
- ・家庭と連携した情報モラル教育。
- ・学校HPの計画的かつ積極的な更新。

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知 識 及 び 技 能 の 習 得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①各教科において学習した言葉の意味や内容、学習用語の習得をさせる。 ②資料を多面的・多角的に捉える技能を養い、活用につなげる。	③習得した知識をもとに、仲間と考えを共有し、自分の考えを持つ力を育成する。 ④自分の考えを自分の言葉で説明したり表現したりする力を育成する。	⑤目標や見通しをもち、学習に粘り強く取り組む力を養う。 ⑥学習したことの振り返りを通して、学習調整力を養う。 ⑦社会参画意識を持ち、自分の未来について考える力を養う。

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④	①新出語句や文法に関する語句を理解する取組。 ④学習した内容について自分の言葉でまとめや振り返りをし、何を学んだか自分の言葉で表現する取組。	
社会	①、⑦	①重要な社会科用語を理解し習得する取組。 ⑦振り返りにおいて自己と社会をつなげ考えさせる取組。	
数学	①、④	①基礎・基本問題の繰り返し、用語について生徒が説明する機会を設ける取組。 ④説明したり表現したりする問題を扱い、解き方について発表・話し合い活動を行う取組。	
理科	①、④	①定期的に小テストを実施し、用語の定着を図る取組。 ④レポート記入、実技テストを実施し、学んだことを表現する活動を行う取組。	
外国語	④、⑥	④既習内容を発展させ、自分の考えや思いを自分の言葉で話したり書いたりする取組。 ⑥わからない単語があっても推測して読み進める取組や新出語句や文法の使い方などを自分で調べたり練習したりして定着させる取組。	
音楽	①、③	①歌唱や奏法などを理解し習得する取組。 ③個人で感じたり気付いたことを仲間と共有し合ったり、理解する取組。	

美術	④、⑤	④アイデアスケッチをしたり、鑑賞カードに自他の作品のよさを言葉で説明したりする取組。 ⑤目標や振り返りを記入する学習プリントを使用し、主体的に作品を制作する取組。	
技術	②、⑦	②理科との関連（物質の状態変化と金属加工、音の伝わり方とマイクの仕組み等）を意識した授業を行う取組。 ⑦SDGsを関連づけながら4つの内容（A材料と加工の技術、B生物育成の技術、Cエネルギー変換の技術、D情報の技術）において授業を行い、常に「未来の自分達にできること」を意識した授業を行う取組。	
家庭	③、⑦	③授業の導入で、実生活に即した課題について考える取組。 ⑦単元の終わりに学んだことを生かして自分ができることを考える取組。	
保健体育	③、⑤	③技能の獲得や作戦を立てる場面で、互いにポイントとなる点を伝える場面を設定する取組。 ⑤ねらいを明確にして、単元や1時間で何を身に付けるのかを示し、先を見据えた目標を持たせる取組。	
特別の教科 道徳	④、⑦	④補助発問の工夫をし、根拠を明らかにさせる取組。 ⑦自分自身について考える時間を15分は取る取組。 ④・⑦ポートフォリオを活用する取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
・「じりつ=自立・自律」 できる生徒の育成	・キャッチフレーズ「じりつ=自立・自律」を掲げ、主体的に考え、行動できるように取り組む。
・5分前行動2分前着席	・授業や集会の開始5分前には移動をし、2分前には着席・整列完了して待機するように普段から徹底する。
・無言移動、無言待機、	・全校朝会や各種集会、避難訓練等において、移動時及び整列時には無言集合、無言移動、無言待機を普段から徹底している。
・授業への取組	・授業で、学習課題を黒板やプリントに記入し、本時のねらいやめあてを可視化する。 ・定期テスト前の補充学習や質問教室を実施する。
・ICTの活用	・積極的に全教科でICTを活用し、生徒に効果的な学習を展開している。
・キャリア教育の充実	・近隣の高校や高等技術専門校との交流、年一回実施のふれあい講演会。1学年では、職業講演会において実際に社会で活躍している人の話を聴いて将来についての考えを深める。
・道徳教育の充実	・道徳の授業の曜日を学年で固定したり、ポートフォリオを全校で取り入れたりして、統一した授業を行っている。
・小学校との連携	・3学期に小学生の中学校見学会を実施する。 ・小学6年生の卒業時に課題（算数）を出し、入学後、復習する。
・人権教育の充実	・共生社会の実現を目指し、性の多様性への理解や、男女平等の精神を養う支援を行う。 ・生徒の、人権を大切にしようとする道徳心や、他人を思いやる豊かな心を育む。 ・生徒同士が互いを認め合う活動として「感謝の木」の活動を行う。
・安全教育の充実	・各学期に避難訓練を行い、自然災害時に命を守るための適切な行動をとることができるよう指導を行う。 ・自転車通学者のヘルメット着用義務化と、自然災害等に備えた防災頭巾の常備を100%とする。

家庭教育との連携

・面談の実施	・夏休み、および１１月に全校三者面談を実施する。
・通信の発行	・定期的な学校だよりの発行を行う（月に１度）。 ・学年通信、進路通信を発行する。 ・ＨＰの計画的かつ積極的な更新を行う。
・家庭学習の習慣化	・定期テスト前の個人計画と実施を毎日担任が把握・確認し、家庭学習の習慣化や自ら学ぶ姿勢を育む。 ・各家庭に「シラバス」を周知する（４月学校配信メールにて）。